

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成29年10月30日 VOL. 45

第6回医療・介護・福祉フォーラム2017開催

市・医師会共催開会式

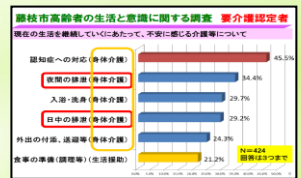
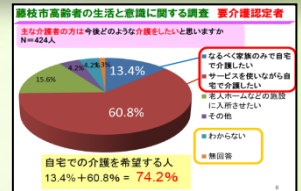
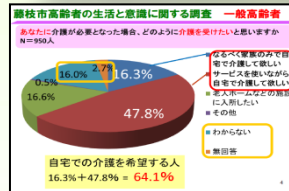


平成29年10月22日(日)志太医師会講堂において、「病院以外での様々な看取り ～在宅療養における課題～」をテーマに開催しました。本年3月にまとめた「藤枝市高齢者の生活と意識に関する調査」の結果、**市民の6割以上の方が介護が必要になったとき「自宅で介護を受けたい」「自宅で介護をしたい」と回答**しています。今回は、在宅看取りの症例を紹介し、それぞれの機関（事業所や職種）の専門性や気概を共有し、参加者140人で「看取り」について考える機会となりました。

地域包括ケア推進課薬科課長より、**本市の在宅療養の課題**として

- ①「自宅で介護を受けたい」という市民の希望を叶える施策の展開
- ②在宅だと「緊急時の対応が不安」に対する不安軽減への施策の展開
- ③「排泄や認知症などへの身体介護が不安」に応えるケアプランの立案
- ④「どこで介護を受けたいか」に自己選択できる市民を増やす 等に対するめざす方向性について、「肝は多職種・多機関連携で推進」と報告しました。

調査結果に基づく課題と展望



「看取り」に関する多職種・多機関からの症例や取組みの報告



市内の訪問看護ステーション代表からは①「一人息子が仕事を継続しながら在宅で母親を看取ったケース」②「訪問看護を導入して家族の見守りの中で看取りしたケース」③「在宅看取りが遠回りになったケース」を報告しました。

通所介護や特養、短期入所事業所代表から④「亡くなる前日までディサービスを利用した人からの学び」⑤「看取りケアの委員会からの報告」⑥「ショートステイでの看取り」を報告しました。

訪問リハから⑦「訪問リハビリを最期まで」 ケアマネから⑧「精神疾患の息子をサポートしながら看取ったケース」 医師から⑨「情報収集と多職種で臨む私の在宅療養のやり方と工夫」を報告しました。